

## ひまわりで過ごす コーギーに密着!!

老犬ホームはどんなところか、気になる人も多いだろう。そこで茨城県つくば市に2014年に設立された話題の老犬ホーム『ひまわり』にうかがって、そこで暮らすコーギーの1日の様子を覗かせていただいた。

**犬仲間とスタッフに囲まれ 毎日のびのびと過ごす**

「ひまわり」は、筑波山の麓、自然に恵まれた環境にある老犬ホームだ。マネージャーである松下晴子さんはホームの成り立ちをこう語る。

「同じ敷地にある犬のテーマパーク『つくばわんわんランド』の高齢化したスタッフ犬の世話をしていた犬舎やスタッフが、『ひまわり』の前身です。スタッフが老犬や介護にまつわる相談を受けることが増え、老犬ホームのニーズの高まりを感じる中、動物看護師の資格など犬の専門知識を持った私たちのノウハウが一般の飼い主さんの一助になるのではないかと考え、『ひまわり』をオープンしました」

入所している頭数は約60匹。年齢は12歳前後。その内コーギーは3匹いて、1匹は認知症を患っている。

認知症のコーギーは、同様に認知症を発症している日本犬と個室で暮らしている。昼は日本犬と一緒に楽しそうに遊んでいるが、就寝時には個室に入られる。これは認知症によるトラブルを避けるためだ。部屋は冷暖房完備し、体に負担をかけない室温に設定してあるので、快適そうだ。

ここでは粗相しても、ムダ吠えしても怒られることはない。残り少ない時間を穏やかなものにするために心を込めて働いているスタッフのもと、コーギーはのびのびと暮らしている。

**犬の状態に合わせて数種類用意**

中には歯肉炎で硬いものが食べられない犬も。咀嚼が苦手な犬のために、ふやかしたエサを用意するなど、細やかなケアで体力を維持している。家庭内でオヤツのもらい過ぎから、肥満のコーギーも少なくないという。健康のためにもカロリーオーバーにならないように気をつけている。

**飽きさせない工夫**

ゴハンが食べられないと急激に体が弱いため、食いつきをよくするために数種類用意。カリカリの他、ウェット系、トッピングなどバリエーション豊かに揃えている。

### 触れ合いながら状態をチェック

「毎日の触れ合いの中で健康状態をチェックしています」とスタッフの鈴木優子さん。この子は認知症から噛みグセが出たようになったので、様子を見つつスキンシップを図る。ちなみにコーギーは日本犬と関係性を築くのが上手らしい。

### コミュニケーション



# 老犬ホームレポート

犬も人も高齢化! だからこそ 知っておきたい選択肢

犬と人間の間でも「老老介護」が問題になっているという。そんな中、注目を集めるのが「老犬ホーム」だ。実際にどんなケアをしてくれるのか、気になる施設をたずねてみた。

Text : Megumi Hirakawa  
Photos : Minako Okuyama

今回、取材にご協力いただいたのは……

つくばわんわんランド内 老犬ホーム「ひまわり」  
同敷地内の「つくばわんわんランド」で犬の世話に携わってきた経験のあるスタッフと、自然に恵まれた環境の中で、穏やかな毎日を過ごせる老犬ホーム。県外からの利用者も多く、猫の入所も可能だ。  
◎茨城県つくば市沼田579 ☎029-886-3601  
<http://rouken-kaigo.co.jp/>



## コーギーに多く見られる預かり事例

### 飼い主の死去

犬より先に飼い主が死去するケースも。子供が独立したあと犬の飼育を始めた老夫婦が、犬を預ける人も。このケースは妻や夫に先立たれ、一人暮らしになった家庭に多い。

### 介護の知識がない

椎間板ヘルニアが多いコーギーは、腰や後ろ足に麻痺が起き、排泄困難になることも。それに伴う感染症の危険を避けるため、排泄介助の知識や技術を持つ老犬ホームが頼りにされる。

### 高齢に伴う不安

高齢で健康面に不安があったり、高齢の飼い主が不測の事態(自らの入院や認知症)に備えて犬を預ける人も。このケースは妻や夫に先立たれ、一人暮らしになった家庭に多い。

### 物理的に介護が不可能

共働きで物理的に世話が難しくなるケースも。コーギーも高齢化に伴い、認知症による夜鳴き、徘徊が増えている。特に集合住宅の場合は対処できず、入居を依頼する場合もある。

「老犬になったから老犬ホームへ」と安易に考えてはほしくないが、人と犬の命を守るひとつの選択肢として知っておきたい、老犬ホームの実態に迫ってみよう。

「老犬になったから老犬ホームへ」と安易に考えてはほしくないが、人と犬の命を守るひとつの選択肢として知っておきたい、老犬ホームの実態に迫ってみよう。

**近年、増えている老犬ホーム 今、求められている理由とは?**

犬と飼い主の高齢化が進む中で、全国的に増えている老犬ホーム。急増している大きな理由は以下の3つと考えられている。

●犬の高齢化  
近年の動物医療の高度化、予防医学の認知や関心の高まりから、犬の寿命は飛躍的に延びた。一説によると、この30年でその長さは2倍に。コーギーの平均寿命は12〜14歳と言われるが、15歳以上も増えてきた。それに伴い認知症や介護問題が顕在化している。しかし体の大きいコーギーの介護は難しく、例えば共働きや集合住宅だと、できる世話にも限界があるため、運び込まれるケースが増えているようだ。

●飼い主の高齢化  
飼い主が高齢化し、愛犬よりも先に亡くなったり、健康上の理由で飼えなくなったりするケースも。今回取材した「ひまわり」でも、この理由が比較的多い。内閣府発表の世論調査では老後のパートナーとしてのペットの重要性が増すと考える人が増えており、その結果もあり、子が独立した老夫婦が暮らしのパートナーとして、コーギーを飼うケースもあるだろう。

●動物愛護管理法の改正  
平成24年の法改正に伴い「所有者の責務に、終生飼養や適正な繁殖に係る努力義務を加える」内容が盛り込まれた。つまり命を終るまで飼い主が面倒を見る義務が加わった。

以上の背景が、老犬ホーム増加の主な要因と言われている。

コーギーは、椎間板ヘルニアも多く、高齢により認知症を発症することも珍しくない。症状が進行すると体が比較的大きいだけに介護や世話が大変だ。これは編集部の主観だが、コーギーの飼い主は、前向きで頑張り屋の方が多し。それだけに介護のお悩みをひとり抱え込んでいる人も多いように思う。老犬ホームの利用に罪悪感を持つ人も少なくはないが、中には犬の介護疲れで体調を崩すなどの問題も発生している。また飼い主の都合で世話が難しくなる不測の事態も考えられる。

### 散歩 足腰が元気な犬は散歩へ

重症な椎間板ヘルニアでもなく、足腰が元気ならばホームの外に出て、「つくばわんわんランド」内で散歩する。周囲の緑や花に目を惹かせるコーギー。車の往来もないので、足元がフツつきがちでも安心だ。

### 健康チェック 気になる部分は素早くケア

愛玩動物飼養管理士や動物看護師の資格を持つスタッフが目やに、耳あかもチェックし、必要に応じてケアをする。イヤークリーナー、目やにを拭く生理食塩水、保湿をするワセリン、爪切りなどをひとまとめにし、いつでもケアできるようスタンバイ。嫌がるケアも素早いのでストレスも少ない。

**投薬も忘れずに!**  
ケガ・疾患がある犬がいる部屋は、投薬を忘れないようドアの前のポケットに薬を入れてある。なお「ひまわり」に隣接して動物病院があるので急変などへの対応が早い。

### ツヤツヤな毛並みをキープ シャンプー

フサフサの毛に包まれた尻尾がかわいらしいコーギーだが、お尻周辺は排泄物で汚れ、ニオイもつきやすい。汚れが気になってきたら、犬専用のバスタブでスタッフが丁寧にシャンプーをする。適宜行われているシャンプーのためか、どのコーギーも毛並みがツヤツヤで若々しく見える。

**ブラッシング**  
ツヤツヤな毛並みの秘訣  
新陳代謝を促す目的もあるブラッシングは定期的に行う。コーギーは、耳の下は毛が長く、毛玉になりやすいので、この部分は丁寧に。手馴れているのでスリッカーブラシも痛がらない犬も気持ちよさそう。

### 清潔を保ち、健康を守る 掃除

免疫力が低い老犬のためにも、衛生面は注意している。朝は床をザッと水掃除し、抜け毛を掃除する。排泄物は見つけたら早めに処理し、毛布も定期的に洗濯。室内飼育ルームはどれも清潔を保つため、ニオイも少ない。



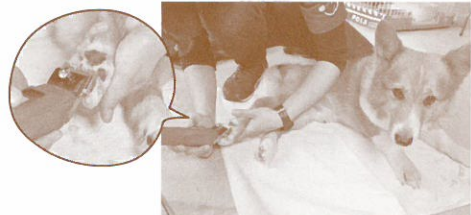
## もっと知りたい 老犬ホームQ&A

持病のケアや費用に関する疑問に、松下さんにお答えいただいた。下記の回答はあくまで『ひまわり』でのケースだが、老犬ホームを知る上で参考になるだろう。

**Q** 慣れるまでが心配。他の犬と上手くやっていける？

**A** 時間をかけて慣れさせトラブルを軽減

「コーギーは飼い主との関係性が密で、環境に慣れるまで時間がかかります。部屋割りは、犬の性格、体格、相性を見て決めるのでトラブルは少ないですが、最初は個室で過ごさせたり、スタッフの部屋に置いたりして慣れさせます。闘犬のように攻撃性が高い犬はお預かりできませんが、今までにお断りしたコーギーはいません」



足の裏の毛が伸びてくると滑りやすくなるので、定期的にバリカンでカットして事故を防いでいます。



室内に段差はなく安心。抱き方にも注意し、腰に負担をかけるように心掛けています。またヘルニアによる痛みが強く、排泄が困難な時は鎮痛剤を投与することもある。

**Q** 入所の有無問わず、今からすべきしつけなどはあるの？

**A** 人や犬と触れ合う社会化やしつけは大事

「コーギーは噛みグセで手を焼くこともあるので、他の人や犬と触れ合ってもいように慣らせておくことが大切です。要求吠えが多い傾向にあるので、しつけを心掛けてほしいですね」

## 老犬ホームの選択は 飼い主が愛犬に示す、責任感のひとつ

老犬ホームは人と犬を守るひとつの選択肢

「コーギーは飼い主との関係が密で、ホームや人、犬に慣れるまで少し時間がかかり、近寄りたげもウーツとなることも。今まで入所をお断りしたひどい噛みグセはありませんでしたが、犬の未来のためにも、しつけをしていきたいですね」と松下さん。

上記のQ&Aにも記したが、入所の有無問わず、すべての飼い主は犬の未来を考えてしつけを見直そう。

またコーギーの飼い主は責任感が強く、介護を頑張り過ぎる場合も。「犬の介護は、相談する相手も少なく、一人で悩みを抱え込みがち。スタッフは介護の苦労を知っていますから、気軽に相談してほしいですね。すぐに入所しなくてもカウンスリングで安心できますし、将来の選択肢がひとつ増えるだけでも心が軽くなるはずですよ」

また、松下さんは「老犬ホームに愛犬を預けることに罪悪感を持ち、自分を責める続ける必要はない」と考えている。なぜなら犬の介護で体調まで崩した飼い主を何人も見てきたからだ。「本当だったら自分で看取りたい」と思うところを、最期の世話だけをプロに任せるといふ選択も、飼い主に責任感がなければできないことだ。

「スタッフは全員犬好きなので、弱っていく姿を見るのは辛いですが、飼い主さんに代わって小さな命を最後までお世話するのが、私達の仕事です」犬も人も高齢化社会。選択肢のひとつに老犬ホームを入れておきたい。



**Q** 入所させたくど、やっぱり途中で引き取りたい場合は？

**A** 解約できるが返金不可。一時帰宅、面会もできる

「解約で引取りは可能。ただし、入所金は一括支払いがルールで返金には応じられません。なお契約中であれば一時帰宅も面会も可能です。今まで介護を頑張ってきた人ほど入所に抵抗を感じるもの。でも飼育放棄ではないので自分を責めないで」

「ひまわり」では、面会ルームを設けている（要事前予約）。定期的に愛犬に会いに来る飼い主も多い。認知症であっても犬は喜ぶそうだ。

**Q** 何歳から入所ができますか？

**A** 入所の長さで費用はどれくらい変わってくる？

「入所は10歳以上からですが、特殊なケースは相談に応じます。入所の費用は犬の体格や期間で異なり、介護費用、持病やケアに必要な投薬など、特別なケアを必要とする場合は、基本料金に加算されます」なお費用は一括払い。3ヶ月の入所は介護のみ利用可。ショートステイは行っていない。

		単位:円			
		3ヶ月	6ヶ月	1年	終身(13歳から)
小型 8kg 未満	入所金	100,000	100,000	100,000	100,000
	治療費	30,000	30,000	30,000	
	利用料	150,000	230,000	360,000	864,000
	介護	45,900	70,200	108,000	
中型 15kg 未満	入所金	120,000	120,000	120,000	120,000
	治療費	30,000	30,000	30,000	
	利用料	200,000	310,000	480,000	1,152,000
	介護	61,200	93,600	144,000	

※価格は税抜。上記はあくまで『ひまわり』の例。施設によって受けられるサービスや料金は異なる。



要介護状態とは？

人間の場合、介護状態は分かりやすく分類・ランク付けされており、認定者が判定する。犬の「要介護」は施設のスタッフが客観的に判断。なお「ひまわり」では、●トイレに行けず、常時ペットシート、オムツが必要 ●介助なしでは飲食ができない ●歩けない ●糖尿病や特別な疾患が悪化して通常の生活を送れない、などを要介護の基準としている。

介助

負担をかけない方法で抱っこ

肥満体型の子が多く、メスでも10kg以上の子もいるコーギー。ケアの際に移動させるのも容易ではない。しかし大型犬の世話にも慣れているスタッフは、力仕事も頼もしい。ひよいと持ち上げ、スムーズに移動させる。胸長の犬種だけに腰に負担をかけない抱っこの仕方でも心得ていて、安心できる。

床ずれ対策

床ずれ対策  
肩と腰にビーズ素材の

寝床と体の接地面に工夫をし、床ずれが起きないようにしている。ベッドの下にクッション性の高い素材をいくつか敷いて自重による負担を軽減。床ずれは肩と腰から始まるそうなので、その間にビーズ素材を入れたクッションを当てている。これで床ずれが劇的に減ったという。



ミニビロー  
ビーズクッションの中身を伸縮性の高いタイツなどに入れた枕を、腰や肩の下に敷き、負担を軽減。

ビニールシート  
エアクッションの上には、滑り止めとタオルが。どれも丸ごと水洗いできる素材なので清潔を保てる。

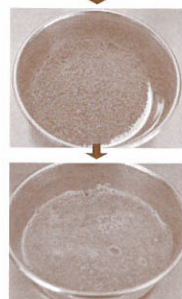
エアクッション

下には適度に空気を抜いた水遊び用のエアクッションが。円柱なので体重が分散されて、床ずれを防ぐ。

食べやすく工夫し  
栄養補給

食事がとれないと急激に弱るので、介助で少しでも食べてもらうように工夫する。四肢で立てない場合は、抱っこで補助したり、口元まで容器を近づけたり、水はウォーターボトルを用いたりして与える。カリカリはミルサーでくだき、水でふやかすと、あっという間に流動食に。歯周病の子や、消化器が弱い子にも安心だ。

ゴハン



排泄

オムツや圧迫排泄で垂れ流しをさせない  
重度の椎間板ヘルニアだと後ろ足や腰に麻痺が生じ、排泄が困難になる。特に尿が溜まると危険で、膀胱炎から腎炎になり命を縮めることも。それを防ぐために朝夕、圧迫排泄を行っている。後ろ足が弱った写真のコーギーは、排便の後、お尻を拭いてもらってうれしそうだ。

## プロの技をチェック!! 要介護の犬たちのお世話

体が大きく、家庭では難しいコーギーの介護。寝たきりになると一筋縄では行かない。しかし老犬ホームでは、プロならではのきめ細やかなケアで、穏やかな状態を保っているという。その様子を覗いてみよう。

難しい介護もプロの手で  
確で快適なケアが可能に

人間と同様、ほぼ寝たきりになってしまう犬もいる。つまり要介護状態だ。コーギーには比較的多い。「コーギーは太りやすく、椎間板ヘルニアで腰、脊椎、後ろ足に負担がかかる」と、自重を短い前足で支えきれず、早い子だと13歳くらいで歩けなくなってしまうと松下さん。体の重いコーギーが寝たきりになってしまうと、介護は決して楽ではない。しかし、プロは手馴れている。「スタッフの人数の関係で介護犬に付ききりになることはできませんが、今まで培ってきた経験や工夫、定期的な

見回りで穏やかな状態を保てるよう努力しています。寝たきりでもっとも問題になる床ずれは、犬に負担をかける方法でスタッフで編み出しました。また排泄困難に関しては、朝と夕方の圧迫排泄に対応しています」一般家庭では難しいケアもプロの手にかかれば安心だ。この点が入所のメリットといえるだろう。ちなみに「ひまわり」は、動物病院ではないため、先進の延命治療は行わない方針（この同意も入所の条件となる）。これは老犬ホームに入所するような10歳以上の場合、延命治療が犬にストレスを与えたり、命を縮めたりする可能性があるからだ。基本的に投薬などの対処療法がとられている。

圧迫排泄って何？

膀胱付近を手で強めに押し、溜まっていた排泄物（尿）を出しきる。この日はコーギーと同じような体型のダックスで実践していただいた。このケアは、一般家では難しく、介護のネックといわれているが、コツをつかんでいるプロだと早い。



排泄

オムツや圧迫排泄で垂れ流しをさせない  
重度の椎間板ヘルニアだと後ろ足や腰に麻痺が生じ、排泄が困難になる。特に尿が溜まると危険で、膀胱炎から腎炎になり命を縮めることも。それを防ぐために朝夕、圧迫排泄を行っている。後ろ足が弱った写真のコーギーは、排便の後、お尻を拭いてもらってうれしそうだ。